

調査の概要

- 調査実施日 令和3年1月13日（水）
- 調査の目的
  - ◇大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
  - ◇市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組みを通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
  - ◇学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
  - ◇生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。
- 調査内容
  - ◆学力に関する調査 1年生（国語・数学・英語） 2年生（国語・社会・数学・理科・英語）
  - ※2年生の社会は各校の指導計画に応じて「A問題」と「B問題」から選択します。今年度より理科は選択問題ではなくなりました。本市においては、今年度は、社会ではA問題を4校、B問題を1校が選択しました。学校別の平均点が特定されることから、2年生の社会についての学力調査結果は記載していません。
  - ◆学習状況に関する調査（生徒アンケート）全8問
- 調査参加者 1年生（府全体 61,885人 うち、本市参加者 626人） 2年生（府全体 60,941人 うち、本市参加者 647人）
- ※教科や出題範囲が限られていることから、中学生チャレンジテストにより測定できるのは学力の特定の一部分です。

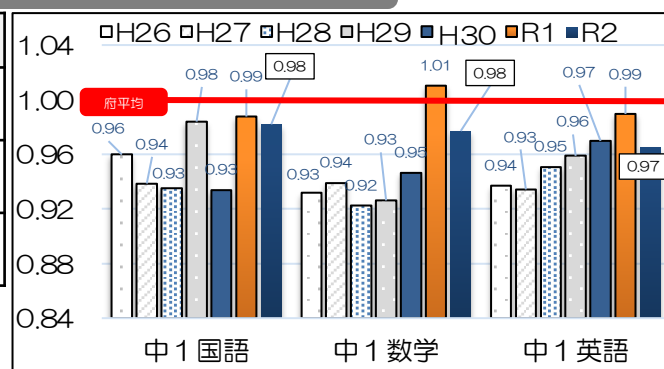
1年生

教科別平均点・対府平均比経年比較

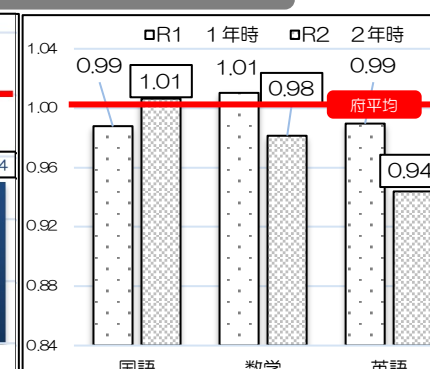
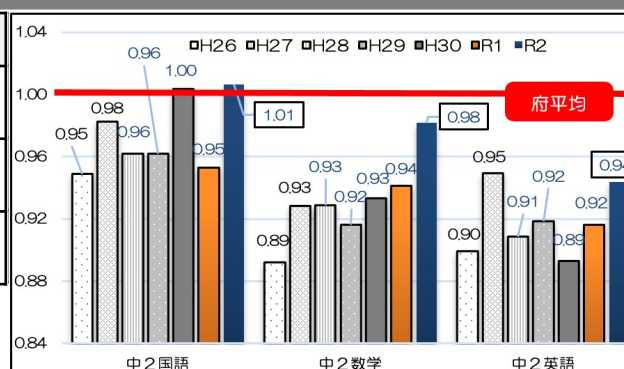
2年生

教科別平均点・対府平均比経年比較及び同一集団での対府平均比経年比較

	国語	数学	英語
本市平均点	55.1	52.8	61.6
大阪府平均点	56.1	54.0	63.8
対府平均比	0.98	0.98	0.97



	国語	数学	英語	理科
本市平均点	58.7	48.5	49.1	47.0
大阪府平均点	58.3	49.4	52.0	49.5
対府平均比	1.01	0.98	0.94	0.95



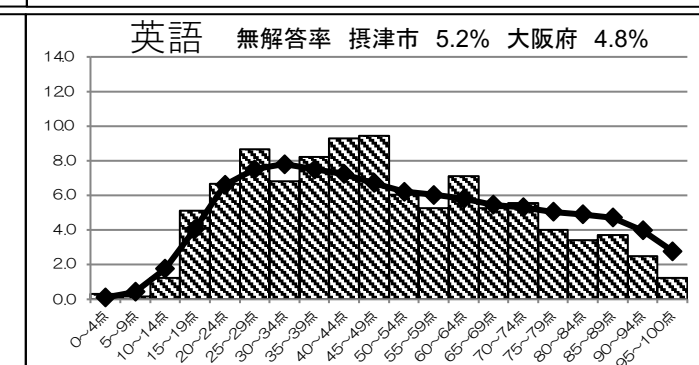
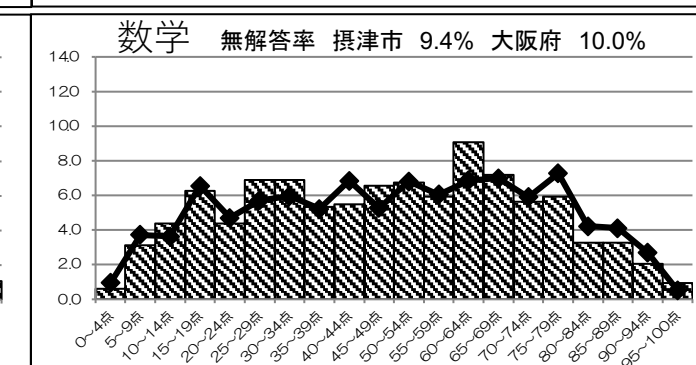
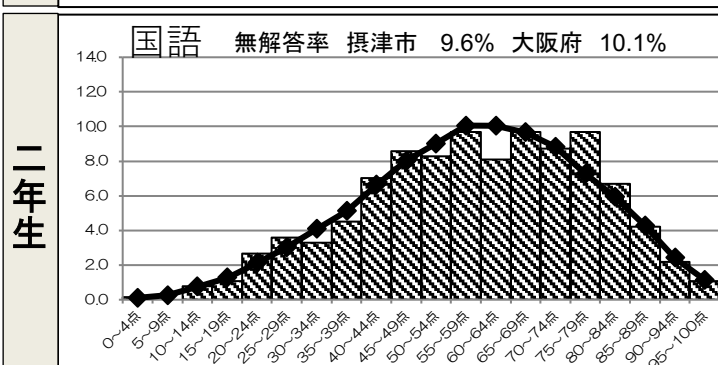
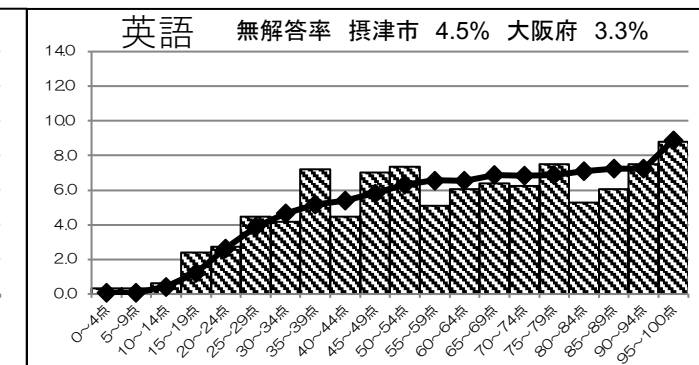
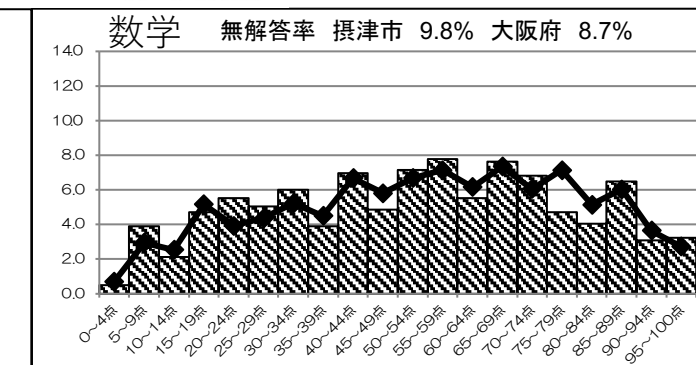
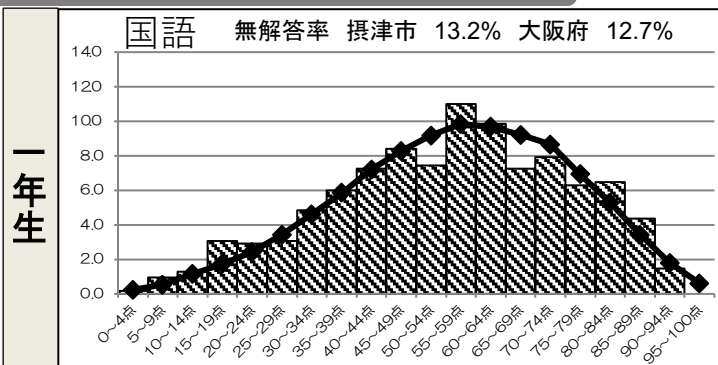
対府平均比とは、大阪府平均を1としたときの本市平均の値です。

社会B問題を選択した学校が1校だったため、学校別の平均点が特定されることから、社会の結果は記載していません。

教科別得点分布・無解答率

■ 摂津市 ◆ 大阪府

調査結果について



【教科別平均点・対府平均比経年比較】  
 1年生の国語、数学は、年々向上傾向にあり、昨年度の結果を下回ったものの、過去2番目の結果となりました。しかしながら、英語については、昨年度と比べ大きく低下し、課題が見られます。  
 2年生の国語、数学、英語ともに年々向上傾向にあり、国語、数学は過去7年間で最高の結果となり、英語は過去2番目の結果となりました。  
 同一集団を経年で比較すると、1年時より、国語は向上し府平均を超え、数学は、若干低下し、英語については、府平均との差が大きくなり、課題が見られます。

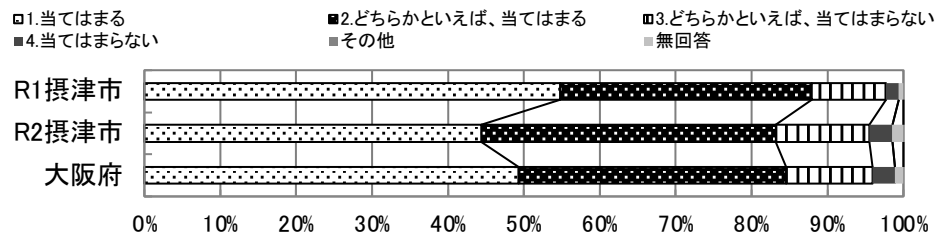
【教科別得点分布・無解答率】  
 1・2年生の国語・数学において得点分布が府の傾向に近づいてきましたが、1・2年生の英語では若干、上位層が少なく、下位～中間層が多い傾向にあります。  
 無解答率については、2年生の国語・数学において、府平均よりも0.6ポイント程度低い結果となりました。

今後に向けて

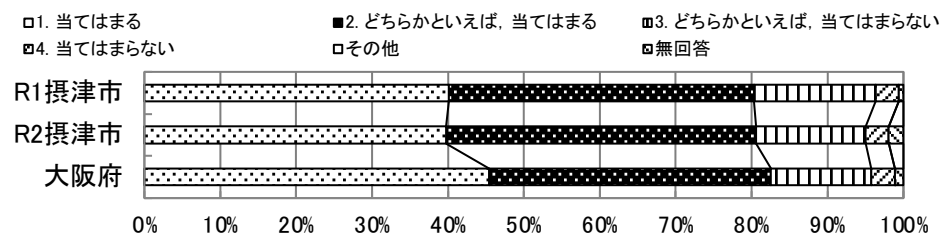
- 教育委員会では引き続き、各校の取組みへの適切な指導や助言を行い、成果を上げている学年・教科の好事例について市内全校で共有できるよう、以下のように支援していきます。
- 市全体の児童生徒の学力状況について分析し、各小中学校へ課題の周知を行うとともに、各校の「学力向上プラン」の進捗状況を確認し、指導・助言と支援を行います。
- 各校では、調査結果から一人ひとりの課題を分析し、指導します。教育委員会では、児童生徒一人ひとりの課題に応じた取組みのための支援員等の派遣を継続していきます。
- 教員の授業力向上のための研修をさらに充実させるとともに、中学校区ごとの小中合同研修実施を支援し、義務教育9年間を見通した教科指導の充実を図ります。
- 令和3年度も摂津SUN SUN塾を全中学校区で開催し、基礎的基本的な学習内容と学習習慣の定着に加え、高校進学に向けて取り組みます。

中 1

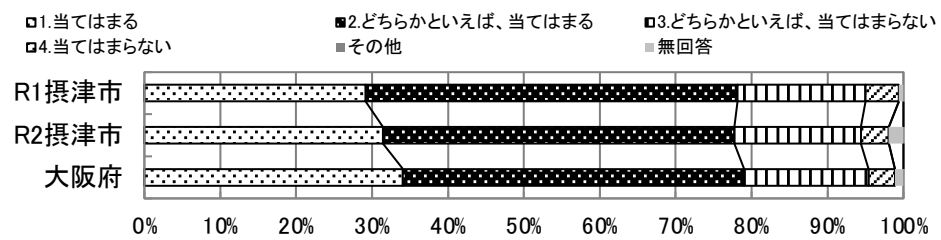
授業中、ノートやプリントに自分の考えを書く場面がある。



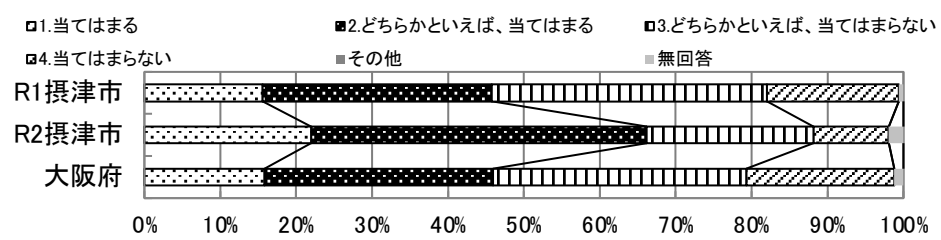
授業中、自分の考えや意見を伝える場面がある。



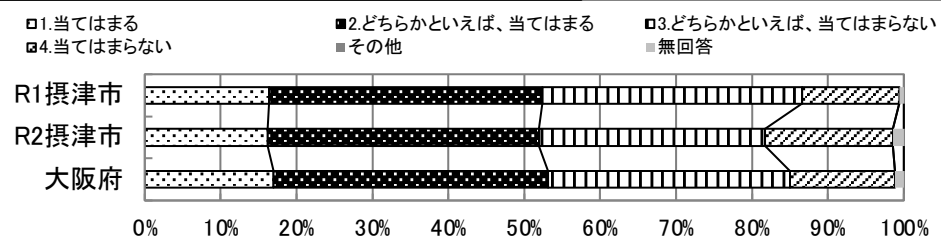
授業中、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしている。



授業で、図書館の資料やインターネットなどで調べる活動がある。

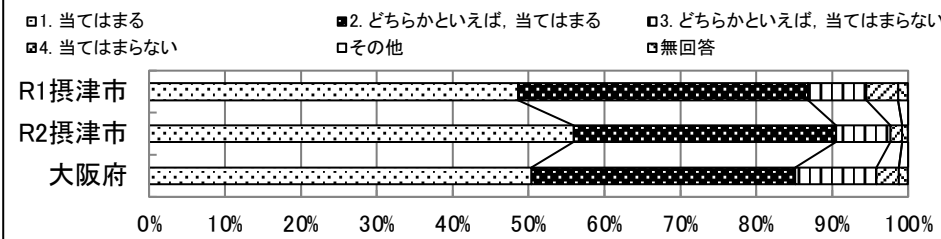


自ら課題を見つけて、家で勉強をしている。

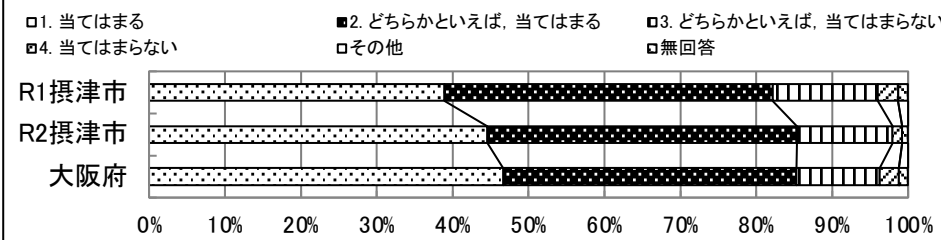


中 2

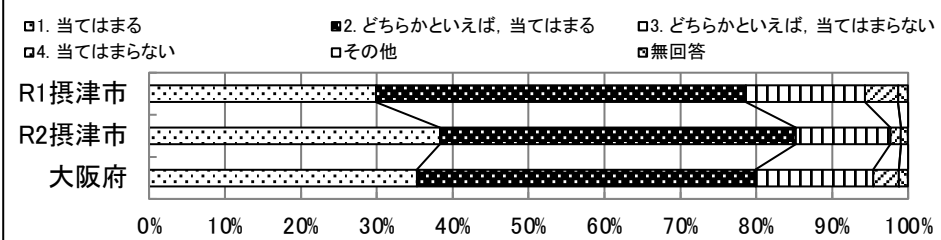
授業中、ノートやプリントに自分の考えを書く場面がある。



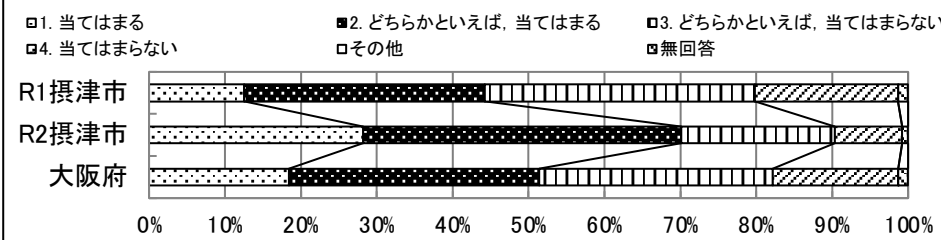
授業中、自分の考えや意見を伝える場面がある。



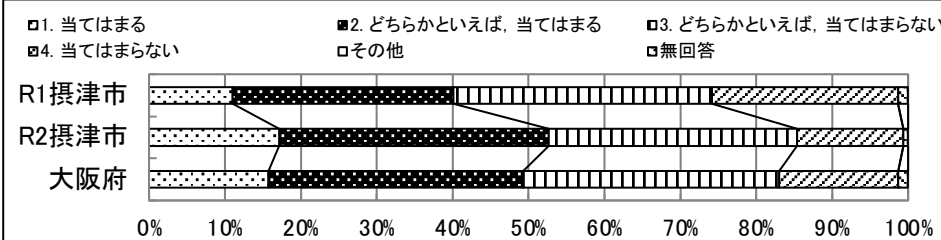
授業中、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしている。



授業で、図書館の資料やインターネットなどで調べる活動がある。



自ら課題を見つけて、家で勉強をしている。



授業についての意識調査

生徒アンケートは、令和元年度から質問項目が変更され、授業に加え、家庭学習についての項目が追加されました。府内の中学校の傾向と比較するため、大阪府全体の結果も記載しています。

【授業中の活動】

2年生はすべての項目で、肯定的回答（※）が昨年度及び府全体とともに上回っています。

1年生では、「授業中に自分の考えを伝える場面」や「話し合い活動を通して自分の考えを深める」といった項目で肯定的回答が昨年度から大きな変化はなく、府全体を下回っており、以前として協同的な学習に取り組むことに課題があります。

また、図書館の活用やインターネットでの調べ学習は、国の「GIGAスクール構想の実現」を受け、1人1台端末が早期に整備され、各校で活用が推進されたことにより、肯定的回答が昨年度、大阪府を大きく上回っています。効果的にICT機器を取り入れた授業を実施している結果と捉えています。

【家庭学習習慣の確立】

「自ら課題を見つけて、家で勉強している」の項目で、肯定的に回答した生徒の割合を昨年度及び府全体と比較すると、2年生で大きく上回っています。中学校区の小中学校3校で連携し「家庭学習週間」の取組みなどを実施し、継続してきた成果として捉えています。

引き続き、このような質問項目で生徒の肯定的回答の割合が高まるよう、ICT機器を取り入れた授業改善を中心とした学力向上の取組みを進め、市内全体の学力向上に努めます。

※肯定的回答の割合とは、選択肢のうちの「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計を表します。

大阪府全体のチャレンジテスト結果とともに、「ワークブック」や「かだめしプリント」などの学習ツールが大阪府Webページに掲載されていますので、ご活用ください。

かだめしプリント  
<http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/chikarasyoukai/index.html>  
 ワークブック  
<http://wwwc.osaka-c.ed.jp/kate/karicen-folder/workbook-for-pref/workbook-index.htm>

ことばのちから  
<http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/kotobanotikara/kotoba-katuyou.html>

中学生チャレンジテスト  
<http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/challenge/index.html>

大阪府公立高等学校入学選抜の問題  
[http://www.pref.osaka.lg.jp/kotogakko/gakuji-g3/h30\\_gakken.html](http://www.pref.osaka.lg.jp/kotogakko/gakuji-g3/h30_gakken.html)